

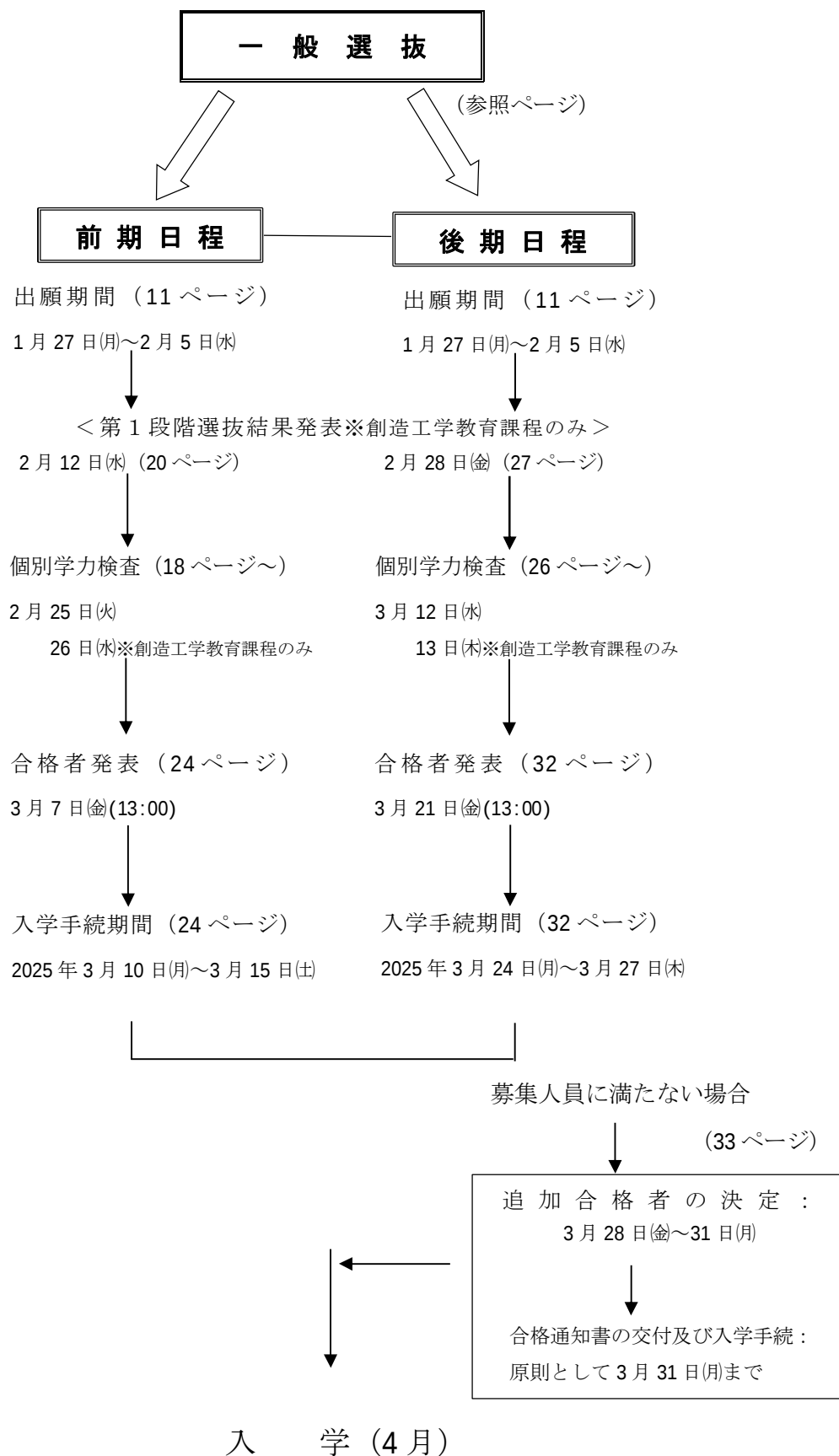
2025年度(令和7年度)
工学部
一般選抜
学生募集要項

国立大学法人
名古屋工業大学

目 次

出願手続から入学までの日程	1
教育理念	2
アドミッション・ポリシー	2
カリキュラム・ポリシー	4
ディプロマ・ポリシー	6
工学部一般選抜 学生募集要項	
前期日程・後期日程共通項目 I	
1 募集学科及び募集人員	9
2 出願資格等	10
3 出願期間	11
4 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目	11
5 調査書及びエントリーカードの活用	12
6 出願手続	12
7 受験票のダウンロード及び印刷	17
8 障害等のある入学志願者との事前相談	17
前期日程に関する項目	
1 入学者選抜方法	18
[高度工学教育課程]	18
[創造工学教育課程]	20
2 学力検査場	22
3 受験上の諸注意	22
4 合格者発表及び入学手続	24
5 寮の案内（学生寮・国際学生寮）	24
後期日程に関する項目	
1 入学者選抜方法	26
[高度工学教育課程]	26
[創造工学教育課程]	27
2 学力検査場	29
3 受験上の諸注意	30
4 合格者発表及び入学手続	32
5 寮の案内（学生寮・国際学生寮）	32
前期日程・後期日程共通項目 II	
1 入学手続時に必要な経費等	33
2 欠員補充	33
3 入試情報	34
4 入学後の修学について	36
5 問い合わせ先	36
本学への交通案内	裏表紙

【出願手続から入学までの日程】



教育理念

名古屋工業大学では、『ものづくり』『ひとづくり』『未来づくり』を理念として、将来にわたって人類の幸福や国際社会の福祉を達成する方向を示し、同時にそれに対応できる人材を育成する。」ことを教育理念としています。

本学の卒業生は一人ひとりが国際社会の中で様々な人々・分野と協働し、持続的未來社会への責任を自覚し、実践の中で革新的な学術と技術を創造する能力を有する実践的工学エリートとして活躍することが期待されます。

産業界において工学の各分野の技術を深化させる人材と工学を俯瞰的に理解し新たな価値を創造する人材が求められることに鑑み、技術の深化で貢献する学生を育成する高度工学教育課程と価値の創造で貢献する学生を育成する創造工学教育課程を置いています。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

教育理念に従って人材を育成するため次を満たす学生を広く国内外から受け入れています。

本学工学部で学ぶ学生は数理的知識とその活用を中心に基礎学力をもち、本学の理念をよく理解し、工学の使命を果たす意欲をもつ人です。

高度工学教育課程

（高度工学教育課程とは、生命・応用化学科、物理工学科、電気・機械工学科、情報工学科及び社会工学科の5学科の総称をさす。）

- 1 高等学校等で学習する教科・科目の基本的な知識を習得し、これを活用して課題解決を行う能力をもつ人、特に英語の基礎学力と表現力をもつ人
- 2 工学や科学技術の学習に特に必要となる数学と理科に関する論理的・数理的・科学的思考力をもつ人
- 3 知的探究心が旺盛で、自ら新しい課題を見つけ挑戦し、ものやしくみを創造することで、自然との共生の上に人類の幸福に貢献する意欲をもつ人

創造工学教育課程

- 1 高等学校等で学習する教科・科目の基本的な知識を習得し、これを活用して課題解決を行う能力をもつ人、特に英語の基礎学力と表現力をもつ人
- 2 工学や科学技術の学習に特に必要となる数学と理科に関する論理的・数理的・科学的思考力をもつ人
- 3 知的探究心が旺盛で、自ら新しい課題を見つけ挑戦し、ものやしくみを創造することで、自然との共生の上に人々の幸福に貢献する意欲をもつ人
- 4 他者と意見を交わすことのできるコミュニケーション力をもつ人

入学者選抜の基本方針

《一般選抜》

高度工学教育課程

大学入学共通テスト（6教科8科目）とともに、数学・理科・英語の個別学力検査を通して、幅広い知識と工学や科学技術の習得に必要な基礎学力を問います。

入学者選抜における評価項目

入学者選抜方法	評価項目（学力の3要素）		
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度
大学入学共通テスト	○		
個別学力検査	○	○	
エントリーカード		○	○
調査書	○	○	○

創造工学教育課程

大学入学共通テスト（6教科8科目）とともに、数学・理科・英語の個別学力検査を通して、幅広い知識と工学や科学技術の習得に必要な基礎学力を問います。

論理的な思考及びそれを具体的に表現できる能力を問うため小論文を課します。また、幅広い工学や科学技術への関心、新たなことを創造する意欲、並びにコミュニケーション力を問うため集団面接を課します。

入学者選抜方法における評価項目

入学者選抜方法	評価項目（学力の3要素）		
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度
大学入学共通テスト	○		
個別学力検査	○	○	
小論文	○	○	
面接		○	○
エントリーカード		○	○
調査書	○	○	○

本学が特に求める科目の学力

数学においては数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ及び数学A・B・Cを学習していることを求めます。特に、現象やしくみを数理的に表現し、その法則性や特性について解析するために必要な数学の基礎を習得していることが必要です。

理科においては物理又は化学のいずれかの科目を習得していることを求めます。特に、物理現象や化学現象を支配する法則とそれらを記述及び操作するための基本的知識、またそれを活用する能力が必要です。

英語においては英文を論理的に読解する能力とそのために必要な語彙力、文法の知識、また自分の考えを英文によって表現する能力を求めます。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

教育理念に従って人材を育成するため、以下の観点から、教育課程を編成しています。

工学部は、高校までに学んだ基礎学力の上に、工学技術者の使命への理解、社会や現象を解析・モデル化する能力、工学の専門知識とこれを活用する能力を身につけ、未来社会をつくり出す人材を育成します。そのため、学部を卒業する者が共通して身につけるべき知識・能力を涵養する共通科目及び専門分野の知識・技術を身につける専門教育科目を学習させます。また、高度工学教育課程及び創造工学教育課程については、工学の役割を理解して技術者の能力を身につける工学コア教育科目を学習させます。

高度工学教育課程

（高度工学教育課程とは、生命・応用化学科、物理工学科、電気・機械工学科、情報工学科及び社会工学科の5学科の総称をさす。）

- 1 人間、文化、社会を理解し、それらを技術的観点から考察する能力、及び技術を新しい生活につなぐ強い使命感・責任感、高い倫理観を身につける。

そのため、共通科目に技術的観点から人間、文化、社会を考察する力を養う人間社会科目を、工学コア教育科目に技術と新しい生活をつなぐ強い使命感・責任感、高い倫理観を養う経営リテラシー科目を置く。また、専門教育科目を通じて各技術分野における態度を涵養する。

- 2 現象の理解・操作のための数理的基礎知識と科学的素養を身につける。

そのため、共通科目の自然科学基礎科目で自然と数理を理解させ、工学コア教育科目の数理情報科目でデータとして現象等を扱う基礎を修得させる。また、各分野の専門教育科目において数理的基礎を学習させる。

- 3 国内外の人々と対話できるコミュニケーション力と論理的思考力を身につける。

そのため、共通科目にグローバルコミュニケーション科目を置く。また、専門教育科目の実験・演習と卒業研究においてグループでの作業・議論・発表を通じてこれらの能力を涵養する。

- 4 基幹となる専門分野の基盤的な知識・技術と新たな知識・技術を習得する能力を身につける。

そのため、専門教育科目に体系的に専門分野の科目を置く。また、幅広い工学の知識を概観する工学コア教育科目を置き、専門教育科目で他の分野の科目も履修させる。専門分野の卒業研究においては知識・技術を総合し創造する能力、知識・技術を自ら習得する能力を養う。

- 5 課題解決に向けて様々な分野の知識・技術を習得する能力を身につける。

そのため、工学コア教育科目にキャリア形成科目を置き、技術者としての責任を理解し、自身のキャリアを計画するための知識・能力を涵養する。また、工学デザイン科目を通じて様々な工学知

識を活用するため、工学の諸要素やその社会との関係を理解する知識・能力を涵養する。

以上によって効果的な教育を行うため、共通科目、工学コア教育科目及び工学分野ごとの体系的専門知識を1年次から4年次まで段階的に修得し、専門と共通科目の知識の相互関連を意識できるよう学習をさせます。

なお、学修成果は、各授業科目における達成目標の達成度に基づき、公正・厳格な成績評価を行い、ディプロマ・ポリシーに示す知識と能力の達成度を評価します。

創造工学教育課程

- 1 人間、文化、社会を理解し、それらを技術的観点から考察する能力、及び技術を新しい生活につなぐ強い使命感・責任感、高い倫理観を身につける。

そのため、共通科目に技術的観点から人間、文化、社会を考察する力を養う人間社会科目を、工学コア教育科目に技術と新しい生活をつなぐ強い使命感・責任感、高い倫理観を養う経営リテラシー科目を置く。また、専門教育科目を通じて各技術分野における態度を涵養する。

- 2 現象の理解・操作のための数理的基礎知識と科学的素養を身につける。

そのため、共通科目の自然科学基礎科目で自然と数理を理解させ、工学コア教育科目の数理情報科目でデータとして現象等を扱う基礎を修得させる。また、各分野の専門教育科目において数理的基礎を学習させる。

- 3 国内外の人々と対話できるコミュニケーション力と論理的思考力を身につける。

そのため、共通科目にグローバルコミュニケーション科目を置く。また、工学コア教育科目に、グループでの作業・議論・発表を通じて意見醸成や問題解決の方法を学ぶ創造方法論科目と創造演習科目を置く。さらに、専門教育科目の演習・実験によってこれらの能力を涵養する。

- 4 基幹となる専門分野の基礎と他の分野の知識・技術に関連づける能力を身につける。

そのため、基幹となる専門分野の基礎を学ぶ専門教育科目に主軸専門科目を置く。また、幅広い工学の知識を概観する工学コア教育科目を置き、創造工学設計科目で他の分野を含む専門科目を学び、知識・技術を総合し創造する能力、必要な知識・技術を自身で習得する能力を養う。

- 5 社会課題等の解決に向けて様々な分野の知識・技術を結び付ける能力を身につける。

そのため、工学コア教育科目にキャリア形成科目を置き、技術者としての責任を理解し、自身のキャリアを計画するための知識・能力を涵養する。また、工学デザイン科目を通じて様々な工学知識を活用するため、工学の諸要素やその社会との関係を理解する知識・能力を涵養する。特に、創造方法論科目で技術を多面的に見るための手法・態度や技術革新の要素に関する基礎的知識を身につけさせ、創造演習科目での実践を通じて課題解決方法や新たな価値を創造する方法を修得させる。

以上によって効果的な教育を行うため、共通科目、工学コア教育科目及び工学の専門の基礎知識・関心を広げる科目を、相互関連を意識できるように1年次から4年次まで段階的に修得させます。

なお、学修成果は、各授業科目における達成目標の達成度に基づき、公正・厳格な成績評価を行い、ディプロマ・ポリシーに示す知識と能力の達成度を評します。

本課程は大学院博士前期課程まで学習することを前提とし、大学院へ入学できる学力を得られるよう個別指導、自律的な学習計画・キャリア計画を重視し、学期ごとの達成度評価を行います。

創造工学教育課程では、学生が自ら決める学習目標にしたがって 13 の専門分野の中から主に学ぶものを 1 つ選択します（主軸専門分野）。選択した分野以外の分野も横断的に学びます。

ただし、コースごとで選択できる主軸専門分野が異なります。下記の URL を参照ください。

なお、履修できる科目はコースに関わらず、13 分野全てから横断的に学びます。

ホームページアドレス：<https://cr.web.nitech.ac.jp/bunya/>

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）

工学部は、教育理念に従って次の専門知識や能力を有する技術者を輩出します。

名古屋工業大学学則で定める卒業認定の要件を満たした学生に学士の学位を授与します。

高度工学教育課程

（高度工学教育課程とは、生命・応用化学科、物理工学科、電気・機械工学科、情報工学科及び社会工学科の 5 学科の総称をさす。）

- 1 人間、文化、社会を理解し、それらを技術的観点から考察する能力と技術を新しい生活につなぐ強い使命感・責任感、高い倫理観
- 2 現象の理解・操作のための数理的基礎知識と科学的素養
- 3 国内外の人々と対話できるコミュニケーション力と論理的思考力
- 4 基幹となる専門分野の基盤的な知識・技術とこれによって課題を解決する能力、新たな知識・技術を習得する能力

高度工学教育課程において学士の学位が与えられるものは、工学技術者が果たすべき責任をよく理解し、工学の専門知識と経験をもち、他の分野の人材との協働によって新たな技術の創出に貢献することのできる人物です。

創造工学教育課程

- 1 人間、文化、社会を理解し、それらを技術的観点から考察する能力と技術を新しい生活につなぐ強い使命感・責任感、高い倫理観
- 2 現象の理解・操作のための数理的基礎知識と科学的素養
- 3 国内外の人々と対話できるコミュニケーション力と論理的思考力
- 4 基幹となる専門分野の基礎知識と他の分野の知識・技術を関連づけ多面的に見ることで新たな価値を創出する能力

創造工学教育課程において学士の学位が与えられるものは、工学技術者が果たすべき責任をよく理解し、工学に関する専門知識と経験及び俯瞰的な理解をもち、多様な人材との協働によって新たな価値の創出に貢献することのできる人物です。

[令和 7 年度入学選抜に係る新教育課程履修者と旧教育課程履修者の定義]

新・旧教育課程履修者とは、以下のとおりです。

新教育課程履修者	① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）に令和 4 年 4 月以降に入学し、平成 30 年告示学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和 7 年 3 月に卒業見込みの者 ② 中等教育学校の後期課程に令和 4 年 4 月以降に進級し、平成 30 年告示学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和 7 年 3 月卒業見込みの者
旧教育課程履修者	上記以外の者 ＊ 高等学校等卒業者，高等学校卒業程度認定試験合格者又は合格見込者，大学入学資格検定合格者，高等専門学校第 3 学年修了者又は修了見込者，高等専修学校（文部科学大臣に指定された高等専修学校に限る。）修了者又は修了見込者，外国の学校等修了者又は修了見込者，在外教育施設修了者又は修了見込者，及び高等学校等を令和 7 年 3 月卒業見込みであるが入学は令和 4 年 3 月以前の者など上記に該当しない者

[令和7年度大学入学共通テストに係る教科・科目名について]

本要項における大学入学共通テストの教科・科目名については、以下に示す略称を使用しています。

(新教育課程)

教科名	科目名	科目名 (略称)
国語	『国語』	国
地理歴史, 公民	『地理総合,地理探究』,『歴史総合,日本史探究』, 『歴史総合,世界史探究』,『公共,倫理』, 『公共,政治・経済』,『地理総合/歴史総合/公共』	地地,歴日, 歴世,公倫, 公政,地歴公
数学	『数学Ⅰ,数学A』,『数学Ⅱ,数学B,数学C』	数ⅠA,数ⅡBC
理科	『物理』,『化学』,『生物』	物,化,生
外国語	『英語 (リスニングを含む)』, 『独語』,『仏語』,『中国語』,『韓国語』	英 (リスニングを含む), 独,仏,中,韓
情報	『情報Ⅰ』	情Ⅰ

(旧教育課程)

教科名	科目名	科目名 (略称)
国語	国語	国
地理歴史, 公民	『旧世界史A』,『旧世界史B』,『旧日本史A』, 『旧日本史B』,『旧地理A』,『旧地理B』, 『旧現代社会』,『旧倫理』, 『旧政治・経済』,『旧倫理,旧政治・経済』	旧世A,旧世B,旧日A, 旧日B,旧地A,旧地B, 旧現社,旧倫, 旧政,旧倫・政
数学	『旧数学Ⅰ・旧数学A』,『旧数学Ⅱ・旧数学B』, 『旧簿記・会計』,『旧情報関係基礎』	旧数ⅠA,旧数ⅡB, 旧簿,旧情関
理科	『物理』,『化学』,『生物』	物,化,生
外国語	『英語 (リスニングを含む)』, 『独語』,『仏語』,『中国語』,『韓国語』	英 (リスニングを含む), 独,仏,中,韓
情報	『情報Ⅰ』,『旧情報』	情Ⅰ,旧情

工 学 部 学 生 募 集 要 項

工学部（修業年限4年）の学生を、次のとおり募集します。

前期日程・後期日程共通項目 I

1 募集学科及び募集人員

課程・学科・分野・コース			募集人員							
			一般選抜				総合 型選 抜	学校推薦型 選抜 注3		外国人 留学生 特別選 抜
								I	II	
高度工学 教育課程	生命・応用化学科 （生命・応用化学系）注1		120		70		—	—	20	若干名
	物理工学科 （物理工学系）注1		60		35		—	5	5	若干名
	電気・機械工学科 （電気・機械工学系）注1		105		65		—	15	15	若干名
	情報工学科 （情報工学系）注1		85		45		—	5	10	若干名
	社会工学科 （社会工学系） 注1	建築・デザイン分野	42		25		3	—	—	若干名
		環境都市分野	22		17		3	3	—	若干名
		経営システム分野	18		14		—	3	—	若干名
創造工学 教育課程 （創造工 学系）注1	材料・エネルギーコース		35	21	25	15	—	15	9	—
	情報・社会コース			14		10	—	10	6	—
基幹工学 教育課程 （夜間主） 注2	電気・機械工学コース （電気・機械工学系）注1		—		—		2	8	—	—
	環境都市工学コース （社会工学系）注1		—		—		2	8	—	—
合 計			487		296		10	72	65	

注1：「課程・学科・分野・コース」の（～系）とは、高度工学教育課程（昼間部）、創造工学教育課程（昼間部）及び基幹工学教育課程（夜間主）の募集人員を一括して管理するものです。

下表を参照してください。

注2：夜間主とは、夜間を主とした昼夜開講の授業を履修する修業年限5年の課程です。

注3：学校推薦型選抜の「I」は大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜を、「II」は大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜を示します。

注4：物理工学科ー女子、電気・機械工学科ー女子、情報工学科ー女子、社会工学科（環境都市分野）ー女子、社会工学科（経営システム分野）、創造工学教育課程、基幹工学教育課程の学校推薦型選抜Iについては、6・7月に学生募集要項を発表し、11月6日（水）に出願を締め切っています。

注5：私費外国人留学生選抜については、「2025年度（令和7年度）名古屋工業大学工学部私費外国人留学生選抜学生募集要項」を参照してください。

注6：社会工学科（建築・デザイン分野、環境都市分野）及び基幹工学教育課程の総合型選抜については、6・7月に学生募集要項を発表し、11月1日（金）に合格発表しました。

<入学定員及び募集人員管理>

募集単位	入学定員	募集人員							外国人留学生特別選抜	
		一般選抜		総合型選抜		学校推薦型選抜				
		前期日程	後期日程			Ⅰ		Ⅱ		
生命・応用化学系	210	120	70	－		－		20		若干名
物理工学系	105	60	35	－		5		5		若干名
電気・機械工学系 夜間主	210	105	65	2	－	23	15	15	15	若干名
		－	－		2		8		－	－
情報工学系	145	85	45	－		5		10		若干名
社会工学系 夜間主	160	82	56	8	6	14	6	－	－	若干名
		－	－		2		8		－	－
創造工学系	100	35	25	－		25		15		－
合 計	930	487	296	10		72		65		

注：昼間部を対象とした学校推薦型選抜及び総合型選抜の入学手続者が募集人員に満たない場合、その欠員は一般選抜の募集人員に加えます。夜間主を対象とした総合型選抜の入学手続者が募集人員に満たない場合、その欠員は学校推薦型選抜に加えます。

2 出願資格等

令和7年度大学入学共通テストの本学が指定する教科・科目（11 ページ参照）を受験した者で、次のいずれかに該当するもの。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び2025年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2025年3月卒業見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2025年3月31日までにこれに該当する見込みの者

これらの者は次のとおりである。

- ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び2025年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び2025年3月31日までに修了見込みの者
- ③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2025年3月31日までに修了見込みの者
- ④ 文部科学大臣の指定した者
- ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定を含む。）に合格した者及び2025年3月31日までに合格見込みの者で、2025年3月31日までに18歳に達するもの
- ⑥ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2025年3月31日までにこれに該当する見込みの者で、2025年3月31日までに18歳に達するもの

注：出願資格（3）の⑥により出願する者は、出願の前に、個別に入学資格審査を行いますので、2025年1月6日(月)までに、本学入試課に電話等で連絡してください。

3 出 願 期 間

(1)インターネット出願登録期間

2025 年 1 月 20 日(月) 9:00～2 月 5 日(水) 12:00 インターネット出願情報の登録（システムへの入力）を行った後に速やかに出願書類を書留速達郵便で郵送により提出してください。詳細は「6 出願手続」で確認してください。

(2)出願書類受理期間

2025 年 1 月 27 日(月)～2 月 5 日(水) 【2 月 5 日(水) 17 時必着】

出願書類受理期間後に到着したものは受理しません。ただし、2 月 3 日(月)以前の発信局（日本国内）消印のある速達書留郵便に限り、期限後に到着した場合であっても受理します。

また、2 月 5 日(水)に限り、持参による出願書類の提出を認めます。2 月 5 日(水)10:00～15:00 の間に、名古屋工業大学入試課まで出願書類を提出してください。当日持参する場合は、下記 URL 又は QR コードからあらかじめ申請してください。（申請期間：2025 年 1 月 27 日(月)12 時～2 月 5 日(水)14 時）

<https://forms.office.com/r/TvxCigFJqr>



なお、出願書類受理期間後に到着したため、受理できなかった者については、その旨連絡します。

4 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

(1) 本学が指定する令和 7 年度大学入学共通テストの教科・科目（全学科共通）は、次のとおりです。

（新教育課程履修者）

教 科	科 目 名 等
国	国
地歴、公民	地地、歴日、歴世、公倫、公政、地歴公から 1 科目
数	数Ⅰ A、 数Ⅱ B C
理	物、化、生から 2 科目
外	英（リスニングを含む）、独、仏、中、韓から 1 科目
情	情Ⅰ
〔6 教科 8 科目〕	

(旧教育課程履修者)

教 科	科 目 名 称
国	国
地歴、公民	地地、歴日、歴世、公倫、公政、地歴公、旧世A、旧世B、旧日A、旧日B、旧地A、旧地B、旧現社、旧倫、旧政、旧倫・政から1科目
数	・数ⅠA、旧数ⅠAから1科目 ・数ⅡBC、旧数ⅡB、旧簿、旧情関から1科目 合計2科目
理	物、化、生から2科目
外	英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓から1科目
情	情Ⅰ、旧情から1科目
〔6教科8科目〕	

注1：大学入学共通テストで、「地理歴史」及び「公民」から2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を採用します。

注2：数学「旧簿記・会計」及び「旧情報関係基礎」を選択解答できる者は、旧教育課程履修者で高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

(2) 大学入学共通テストで本学が指定する教科・科目を一つでも受験していないことが判明した場合は、個別学力検査を受験できませんので、受験した教科・科目の確認には特に注意してください。

5 調査書及びエントリーカードの活用

調査書の補完資料として、志望理由、入学後の学修目標、その他アピールポイント等について本人が記載する資料（以下「エントリーカード」という。）の提出を求めます。

全ての学科・課程において調査書及びエントリーカードは選抜の資料として活用します。特に学力の3要素である「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」に関して一定水準の能力を備えているものの合格、不合格の境界付近に位置する受験者の選考にあつては「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」に関する情報を含めて、多面的総合的評価を行います。

高等学校には、調査書の「指導上参考となる諸事項」において「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」に該当するものがあれば、その具体的な内容の記載を求めます。

6 出 願 手 続

入学志願者は、次の(1)～(4)を十分確認のうえ、手続を行ってください。

(1)【インターネット出願の流れ】

①入試制度の確認	本学ホームページから「募集要項」をダウンロードし、出願資格・入学者選抜方法・出願期間を確認します。
②出願情報の登録	インターネットに接続しているパソコン等から、画面の指示に従って登録内容を入力します。
③出願情報の確認	登録した出願情報を確認します。確認用の紙を印刷できますので、学校の先生や保護者の方が確認する場合も簡単です。
④支払い方法の選択	検定料の支払い方法を選択します。 ・クレジットカード ・銀行ATM(ペイジー) ・コンビニエンスストア ・ネットバンキング

⑤検定料の支払い	選択した支払い方法に従って検定料 17,700 円（うち払込手数料 700 円）の支払いが必要となります。 注：試験成績の開示を希望する場合は、別途 800 円の支払いが必要です。
⑥出願登録内容の印刷	出願確認票等を印刷します。
⑦出願書類の郵送	⑥の出願登録内容の印刷物等を、15 ページの「(3)出願書類」に記載のとおり名古屋工業大学へ郵送し、出願完了。

注 1：インターネット出願情報の登録だけでは、出願手続は完了しません。出願期間内に 15 ページの「(3)出願書類」に記載されている、出願確認票等を郵送・提出することで完了します。

注 2：出願情報の登録中に次の操作を行った場合、又は、30 分間次のページに進まなかった場合には、始めからやり直す必要がありますので、注意してください。

- ・出願登録完了前にブラウザを閉じた場合
- ・前の画面に戻る際、ブラウザの「戻る」ボタンを使用した場合

注 3：インターネット出願情報の登録の際のパソコン推奨環境及びモバイル端末推奨環境は次のとおりです。

注 4：検定料の支払い方法、よくある質問など詳細については、下記【インターネット出願登録サイト】を確認してください。

注 5：入学試験前 1 年以内に大規模災害に遭った者は、申請により検定料が免除される場合があります。対象は災害救助法適用地域において被災し、住宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊又は流失した者若しくは家計支持者が死亡又は行方不明となった者です。

詳細については、本学ホームページ

(<https://www.nitech.ac.jp/examination/sokuhou/index.html>)を確認し、必要書類を提出してください。

【インターネット出願登録サイト】

本学ホームページ>入試案内>インターネット出願>インターネット出願登録サイト

【インターネット出願登録の手順案内】

本学ホームページ>入試案内>学部入試>募集要項・資料請求

①パソコン推奨環境

ブラウザ

Windows 環境の場合	Macintosh 環境の場合
Google Chrome Microsoft Edge	Safari Google Chrome (MacOS 10.6 以降)

PDF 閲覧ソフト

Windows 環境の場合	Macintosh 環境の場合
Adobe Acrobat Reader DC	Adobe Acrobat Reader DC

②モバイル端末推奨環境

注：下記は推奨環境ですが，お使いの環境によっては一部機能が動作しないことがあります。
その場合はパソコンを使用してください。

OS

Android 環境の場合	iOS 環境の場合
Android 10.X.X 以降 Android Chrome	iOS 14.X.X 以降 Safari

(2) インターネット出願情報の登録及び検定料の支払いについて

- ① インターネット出願情報の登録及び検定料の支払いが必要となります。

インターネット出願情報の登録の手順は，別ファイル「インターネット出願登録の手順案内」のとおりです。

- ② 出願情報の登録を開始する前に準備しておくデータ等

ア エントリーカード

出願情報の登録システムにはエントリーカードの関係部分で長文を入力する箇所があります。あらかじめ本学HP (<https://www.nitech.ac.jp/examination/gakubu/request.html>) に掲載してあるエントリーカードを参照のうえ，入力する文章を作成しておき，それをコピーしてシステムに貼り付ける形で入力する方法を推奨します。

イ 本人の顔写真データ

正面，上半身，無帽のもので出願前 3 か月以内に撮影した写真の画像データを準備しておいてください。システムに他の情報とともに登録します。

ウ 電子メールアドレス

電子メールアドレスが必要となります。スマートフォン・携帯電話の電子メールアドレスやフリーメールのアドレスも利用可能です。（この電子メールアドレス宛に，出願情報登録完了等の確認メールを配信します。）

エ プリンター，印刷用紙

A4 サイズの用紙が印刷できるプリンタ（モノクロ，カラーどちらでも可）が必要です。印刷用紙は普通紙で構いません。（出願情報の登録内容を印刷するために使用します。）

- ③ インターネットが利用できない場合

自宅や在籍する学校・大学等に，インターネット出願登録ができる環境が整っていない場合は，36 ページ「5 問い合わせ先」まで相談してください。

注：インターネット出願登録後，15 ページ「(3)出願書類」の提出書類を郵送・提出することで，出願手続完了となります。11 ページ「3 出願期間」の出願期間内に提出書類の郵送・提出がない場合，出願未完了（登録データは無効）となり，受験ができませんので，注意してください。

(3) 出願書類

14 ページ(2)のインターネット出願情報の登録後、次の書類を取りそろえ、市販の封筒（角形 2 号、縦 33cm×横 24cm）を用い、封筒表面に下表の③宛名ラベルを貼り付け、**書留速達**で郵送してください。

登録内容の印刷物 インターネット出願	① 出願確認票 (提出用)	インターネット出願登録後、印刷したもの。
	② エントリーカード	インターネット出願登録後、印刷したもの。
	③ 宛名ラベル	インターネット出願登録後、印刷したものを出願書類提出用封筒に貼り付けてください。
その他必要書類	④ 調査書	ア 出身学校長が作成し、厳封したもの。 イ やむを得ない事由により出身学校長等の調査書が得られない場合は、次によってください。 (ア) 廃校、被災、調査書の保存期限の経過、その他の事情により出身高等学校長等の調査書が得られない場合は、卒業証明書と単位修得証明書(単位修得証明書が得られない場合は、成績通信簿の原本)をもってこれに代えることができます。 (イ) 志願者本人が被災等により(ア)の書類をも整えられない場合は、出身学校所管の教育委員会、知事又は出身高等学校長等が作成したこれに関する証明書を提出してください。 ウ 文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者については、その成績証明書をもって調査書に代えます。 エ 高等学校卒業程度認定試験及び大学入学資格検定合格者については、その合格成績証明書をもって調査書に代えます。 なお、高等学校卒業程度認定試験及び大学入学資格検定の受検科目の一部について検定を免除された者は、学校長が発行した単位修得証明書(厳封したもの。)を併せて提出してください。
	⑤ 令和 7 共通テスト成績請求票	大学入試センターが交付したもので、前期日程は「前 国公立前期日程用」を、後期日程は「後 国公立後期日程用」を「①出願確認票(提出用)」の所定欄に貼り付けてください。 成績請求票を、取り違えないように十分注意してください。

(4) 注意事項

- ① 個別学力検査で課す教科・科目等の一つでも受験しなかった場合には、合格者とはなりません。
- ② 前期日程と後期日程で、それぞれ一学科ずつに出願することができます。
- ③ 前期日程への出願者は、他の国公立大学（注：独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）・学部の前期日程に出願することはできません（後期日程であれば可能。）。

注：独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部については、公立大学協会ホームページ(<https://www.kodai-kyo.org/>)を参照してください。

また、後期日程への出願者は、他の国公立大学・学部の後期日程に出願することはできません（前期日程であれば可能。）。

【いわゆる「前期－前期」、「後期－後期」のそれぞれの組合わせの併願はできません。】

- ④ 国公立大学の総合型選抜及び学校推薦型選抜に合格した者（当該大学の所定の手続を経て入学辞退を認められた者を除く。）は、個別学力検査を受験しても合格者とはなりません。
- ⑤ 本学又は他の国公立大学の前期日程試験に合格し、入学手続を完了した者は、本学の後期日程試験を受験しても、その合格者とはなりません。
- ⑥ 出願書類等に不備のある場合は、受理しません。
- ⑦ インターネット出願登録後、出願事項の変更は認めません。ただし、住所・電話番号等の変更が生じた場合は、36 ページ「5 問い合わせ先」まで連絡してください。
- ⑧ 提出された出願書類等は、返還しません。
- ⑨ 既納の検定料及び成績開示請求手数料は、次のいずれかに該当する場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
 - ア 支払ったが、出願書類を郵送しなかった場合
注：インターネット出願登録だけでは、出願手続は完了しません。出願期間内に書類を郵送することで完了します。
 - イ 支払ったが、出願書類の不備により出願が受理されなかった場合
 - ウ 支払った後に、検定料免除を申請し認められた者
 - エ 誤って二重に支払った場合
 - オ 創造工学教育課程の第1段階選抜で不合格となった者には、申出（申出期限：2025年3月31日(月)まで）により、後日13,000円を返還します。
 - カ 出願受付後に、本学が指定する令和7年度大学入学共通テストの教科・科目を一つでも受験していないことが判明した者には、本人に確認のうえ、申出（申出期限：2025年3月31日(月)まで）により、後日13,000円を返還します。
- ⑩ 出願書類等に虚偽の記載が判明した場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- ⑪ 「本学の個別学力検査受験票」及び「大学入学共通テスト受験票」は、本学の個別学力検査の受験、入学手続及び入試情報開示の際に必要となりますので、紛失しないように保管してください。
- ⑫ 本学入学者選抜に用いた個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」に基づいて、次のとおり取り扱います。
 - ア 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、大学入学共通テストの受験番号、可否、入学手続に関する個人情報を独立行政法人大学入試センター及び併願国公立大学へ提供します。
 - イ 入学者選抜に用いた個人情報については、今後の入学者選抜に係る調査・研究のために利用します。なお同調査・研究のため守秘義務を課した業者にその業務の一部を委託することがあります。この場合、当該業者に対して委託した業務の範囲内で必要となる個人情報を提供します。
 - ウ 合格者の氏名・住所等の個人情報は、教科書販売、賃貸住宅に関する事前案内送付等のために利用します。なお、この業務については守秘義務を課した業者に委託することがあります。この場合、当該業者に対して業務実施の上で必要となる範囲内で個人情報を提供します。
 - エ 入学者の個人情報は学籍等の教務関係、修学指導関係及び学生支援関係の業務に利用します。なお、同業務遂行にあたり守秘義務を課した業者にその一部を委託することがあります。この場合、当該業者に対して委託した業務の範囲内で必要となる個人情報を提供します。

7 受験票のダウンロード及び印刷

受験票は、2025 年 2 月 10 日(月)からダウンロード及び印刷が可能となります。インターネット出願登録サイトから受験票をダウンロード及び印刷してください。個別学力検査当日は、「名古屋工業大学受験票」及び「大学入学共通テスト受験票」の二つを必ず持参してください。また、22、30 ページ「3 受験上の諸注意」を学力検査当日までに必ず熟読してください。

[創造工学教育課程]

第 1 段階選抜を行った場合、前期日程は 2025 年 2 月 12 日(水)に、後期日程は 2025 年 2 月 28 日(金)に、合格者に対しては合格通知書を、不合格者に対しては不合格通知書を発送します。

また、受験案内については、後日メールにて送付します。

8 障害等のある入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、学校教育法施行令第 22 条の 3 に定める障害のあるもの又はその他の障害等があるもののうち、受験上及び修学上の配慮を必要とするものは、出願の前に、下記により相談してください。

(1) 相談の時期及び方法

2025 年 1 月 14 日(火)までに相談する内容を文書、電話、FAX、Eメールのいずれかで連絡してください。必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

(2) 連絡先

36 ページ「5 問い合わせ先」をお願いします。

前期日程に関する項目

1 入学者選抜方法

入学者の選抜は次のとおり実施します。本学が指定するすべての筆記試験及び面接（創造工学教育課程のみ実施）を受験しなければなりません。

[高度工学教育課程]

入学者の選抜は、令和7年度大学入学共通テスト成績、個別学力検査成績、調査書及びエントリーカードを総合して判定します。

2段階選抜は、実施しません。

(1) 配 点

- ① 大学入学共通テストについては、本学の配点に換算します。
- ② 個別学力検査については、数学400点、理科400点、外国語(英語)200点を満点とします。

学 科	区 分	国 語	地理歴史 公 民	数 学	理 科	外国語	情 報	計
全 学 科	大学入学共通 テスト	450 国語200点、地理歴史及び公民100点(1科目選択)、数学200点、 理科200点、外国語200点、情報50点の合計950点を450点に換算 する。						450
	個別学力検査			400	400	200		1000
	計							1450

注1：大学入学共通テストで、「地理歴史」及び「公民」から2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を採用します。

注2：大学入学共通テストの外国語『英語』については、リーディング100点とリスニング100点の合計200点満点とします。なお、「リスニング免除」が許可された者の英語の点数は、リーディングの点数を2倍に換算します。

注3：大学入学共通テストの「情報」について、配点は2分の1を掛けて50点満点とします。

(2) 個別学力検査

- ① 学科、期日、教科・科目、時間

学 科	期 日	教科・科目	時 間
全 学 科	2月25日(火)	数 学	9：30～11：30（120分）
		理科（物理・化学）	13：00～14：40（100分）
		英 語	15：40～17：00（80分）

② 教科，出題科目，出題科目数，科目等

生命・応用化学科，物理工学科，社会工学科

教科	出題科目	出題科目数	科目等
数 学	数Ⅰ 数Ⅱ 数Ⅲ 数A 数B 数C	6科目 (必須)	数Ⅰ，数Ⅱ，数Ⅲは全範囲，数Aは「図形の性質」及び「場合の数と確率」，数Bは「数列」及び「統計的な推測」，数Cは「ベクトル」及び「平面上の曲線と複素数平面」を併せて数学として出題
理 科	物理基礎・物理	1科目	試験時間中に「物理基礎・物理」又は「化学基礎・化学」のいずれか選択
	化学基礎・化学		
英 語	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 論理・表現Ⅰ 論理・表現Ⅱ 論理・表現Ⅲ	6科目 (必須)	英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲを併せて英語として出題

注：個別学力検査で出題する「数学」及び「理科」では，旧教育課程履修者に不利益が生じることのないように配慮します。

電気・機械工学科，情報工学科

教科	出題科目	出題科目数	科目等
数 学	数Ⅰ 数Ⅱ 数Ⅲ 数A 数B 数C	6科目 (必須)	数Ⅰ，数Ⅱ，数Ⅲは全範囲，数Aは「図形の性質」及び「場合の数と確率」，数Bは「数列」及び「統計的な推測」，数Cは「ベクトル」及び「平面上の曲線と複素数平面」を併せて数学として出題
理 科	物理基礎・物理	1科目	「物理基礎・物理」必須
英 語	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 論理・表現Ⅰ 論理・表現Ⅱ 論理・表現Ⅲ	6科目 (必須)	英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲを併せて英語として出題

注：個別学力検査で出題する「数学」及び「理科」では，旧教育課程履修者に不利益が生じることのないように配慮します。

[創造工学教育課程]

創造工学教育課程では、出願コース以外のもう1つのコースについて第2志望を認めます。

入学者の選抜は、令和7年度大学入学共通テスト成績、個別学力検査（小論文含む）成績、面接の成績、調査書及びエントリーカードを総合して判定します

(1) 2段階選抜

入学志願者が募集人員に対して、約4倍に達した場合は、大学入学共通テストの成績により第1次選抜を行うことがあります。この場合、第1段階選抜合格者に対して第2次学力検査を行います。第1段階選抜の実施の有無は、本学ホームページ（<https://www.nitech.ac.jp/>）にて公表します。

なお、第1段階選抜を行った場合、合格者に対しては合格通知を、不合格者に対しては不合格通知書を2025年2月12日(水)に大学から発送することによりお知らせします。

また、受験案内については、後日メールにて送付します。

(2) 配 点

① 大学入学共通テスト及び個別学力検査

コース	区 分	国 語	地理歴史 公 民	数 学	理 科	外国語	情 報	計
全コース	大学入学共通 テスト	450 国語200点、地理歴史及び公民100点（1科目選択）、数学200点、 理科200点、外国語200点、情報50点の合計950点を450点に換算す る。						450
	個別学力検査			400	400	200		1000
	計							1450

注1：大学入学共通テストで、「地理歴史」及び「公民」から2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を採用します。

注2：大学入学共通テストの外国語『英語』については、リーディング100点とリスニング100点の合計200点満点とします。なお、「リスニング免除」が許可された者の英語の点数は、リーディングの点数を2倍に換算します。

注3：大学入学共通テストの「情報」について、配点は2分の1を掛けて50点満点とします。

② 小論文及び面接

A, B, Cの3段階で評価します。

(3) 個別学力検査

① コース，期日，教科・科目等，時間

コース	期 日	教 科 ・ 科 目	時 間
全コース	2 月 25 日 (火)	数 学	9 : 30～11 : 30 (120分)
		理科 (物理・化学)	13 : 00～14 : 40 (100分)
		英 語	15 : 40～17 : 00 (80分)
		小 論 文	17 : 40～18 : 20 (40分)
	2 月 26 日 (水)	面 接	9 : 30～

② 教科，出題科目，出題科目数，科目等

教 科	出題科目	出題科目数	科 目 等
数 学	数Ⅰ 数Ⅱ 数Ⅲ 数A 数B 数C	6 科目 (必須)	数Ⅰ，数Ⅱ，数Ⅲは全範囲，数Aは「図形の性質」及び「場合の数と確率」，数Bは「数列」及び「統計的な推測」，数Cは「ベクトル」及び「平面上の曲線と複素数平面」を併せて数学として出題
理 科	物理基礎・物理 化学基礎・化学	1 科目	試験時間中に「物理基礎・物理」又は「化学基礎・化学」のいずれか選択
英 語	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 論理・表現Ⅰ 論理・表現Ⅱ 論理・表現Ⅲ	6 科目 (必須)	英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲを併せて英語として出題

注：個別学力検査で出題する「数学」及び「理科」では，旧教育課程履修者に不利益が生じることのないように配慮します。

② 小論文

出 題 方 法
工学と社会の繋がり等に関わる複数のテーマから1つ選択し，400～500字程度で解答する。

③ 面接（集団面接）

評 価 内 容
工学への「関心の高さ」，「意欲」及び「チームワーク」，「リーダーシップ性」などについて評価する。

2 学力検査場

- (1) 名古屋工業大学で実施します。
- (2) 2月21日(金)13:00から16:00までの間、学力検査場の下見を認めますので、確認しておいてください（建物には、入ることはできません。）。

なお、遠方の方で上記日時に下見が不可能な場合は、試験日前日（2月24日(月)13:00から16:00）に学力検査場の下見を認めます。正門で受験票を提示し、入場してください（建物には、入ることはできません。）。

検査場建物については、下見の際に配付する「検査場案内」で確認してください。なお、「検査場案内」は本学ホームページ上（<https://www.nitech.ac.jp/examination/index.html>）でも掲載しますので確認してください（2月12日(水)以降掲載予定）。

3 受験上の諸注意

下記の注意事項を熟読のうえ、受験してください。

- (1) 学力検査当日は、気象状況、交通事情等を考慮して、余裕をもって学力検査場に到着してください。
- (2) 入構は正門から行ってください。
- (3) 入構の際は、必ず本学受験票を係員に提示してください。再入構する際も、受験票の提示が必要です。出構の際は必ず受験票を携行してください。
- (4) 学力検査当日の入構は8:10から、試験室への入室は8:30からできます。
- (5) 受験者に対する連絡事項については、掲示で行いますので、学力検査場内の掲示にはよく注意してください。
- (6) 受験票は、インターネット出願サイトよりダウンロードし、印刷して学力検査当日持参してください。
なお、学力検査当日紛失に気付いた場合は、試験実施本部に申し出てください。
- (7) 学力検査開始20分前までに、面接は30分前までに、指定された試験室の自席に着席してください。
- (8) 2月25日(火)の学力検査（数学、理科、英語）は、試験開始後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
- (9) 本学受験票及び大学入学共通テスト受験票を持参し、学力検査の際、机上の受験番号の手前に置いてください。
- (10) 机の上には、受験票のほか、黒鉛筆（H、F、HBに限る。）、シャープペンシル、プラスチック製消しゴム、鉛筆削り、時計（計時機能だけのもの、ただし、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものを除く。）以外のものを置くことはできません。
- (11) 解答用紙には、志望課程等及び受験番号を記入し、氏名を書かないでください。
- (12) 試験問題及び下書き用紙は、持ち帰ってください。
- (13) 2月25日(火)の試験進行の合図は、監督者が口頭で指示します。
なお、小論文は「創造工学教育課程」のみとなります。
- (14) 2月26日(水)の面接は、9:00までに控室に集合し、9:30から開始します。
- (15) 出題教科の「英語」で「マークシート式解答用紙」を使用します。出題形式は、マーク

解答と記述解答を併用します。

マークシート式解答用紙を解答する際は、次の点に注意してください。

- ① マーク解答には、必ず**黒鉛筆**（H、F、HBに限る。）及び**プラスチック製の消しゴム**を使用してください。黒鉛筆以外のもの（シャープペンシル等）を使用してマークした場合には、解答が読み取れないことがありますので、使用しないでください。
- ② **受験番号が正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。**
- ③ 解答は、解答用紙の「マーク例」に従って、正しくマークしてください。マークが薄い場合、一部分しかマークしていない場合、訂正箇所を消しゴムできれいに消していない（消し跡が残っている）場合は、解答が正しく読み取れず、採点できないことがあります。
- (16) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス）等の電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切ってください（携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス）等の電子機器については、電源やアラームの解除方法を熟知しておいてください）。
- (17) 試験室において、不正行為*若しくは監督者の指示に従わない行為をした者には、監督者が退室を命ずることがあります。不正行為と判断された場合は、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した個別学力検査のすべての教科・科目の成績を無効とします。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。
- (18) 自動車及びオートバイによる入構は認めません。また、自転車による入構についてもできる限り遠慮してください。
- (19) 昼食については、各自で用意してください。
- (20) エレベーターの使用は、禁止します。

※不正行為とは、次の行為をいいます。

- ア 志願者が受験票、解答用紙へ故意に虚偽の記入（受験票・写真票に本人以外の写真を登録することや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど。）をすること。

イ カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。

ウ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。

エ 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。

オ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。

カ 解答開始の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。

キ 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。

ク 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。

※ イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとします。（試験時間中、病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請が必要です。）

ケ 解答終了の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

上記以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱い、上記と同様です。

- ア 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレイヤー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
- イ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ウ 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
- エ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- オ 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
- カ その他、試験の公正性を損なうおそれのある行為をすること。

4 合格者発表及び入学手続

- (1) 2025 年 3 月 7 日(金) 13:00 に、本学ホームページ (<https://www.nitech.ac.jp/>) で合格者の受験番号を発表します。
- なお、合格者発表についての電話による問い合わせには応じません。
- 合格者には、合格通知書及び入学手続書類を 3 月 7 日(金)に速達で発送します（郵送以外の方法では交付しません。）。
- 合格者で、3 月 11 日(火)までに関係書類が到着しない場合は、本学入試課へ照会してください。
- (2) **合格者（又は代理人）は、合格通知書に同封の「入学手続要領」に基づき郵送により入学手続を行ってください。**入学手続期間までに入学手続を行わない場合は、入学を辞退したものととして取り扱います。
- 入学手続時に必要な経費等は、33 ページの「1 入学手続時に必要な経費等」を参照してください。
- (3) **入学手続期間**
- 2025 年 3 月 10 日(月)～3 月 15 日(土) 【3 月 15 日(土)12:00（正午）必着】
- やむを得ない事情により郵送による入学手続ができない場合は、3 月 15 日(土) 9:00～16:00 に持参による入学手続を認めます。詳細については、合格通知書に同封の「入学手続要領」を確認してください。
- (4) 入学手続時に本学受験票及び大学入学共通テスト受験票を必要としますので、試験後も必ず保管しておいてください。
- (5) 一つの国公立大学に入学手続を行った者は、これを取り消して他の国公立大学に入学手続を行うことはできません。
- (6) 入学手続完了者であっても 2025 年 3 月に高等学校等を卒業できない者は、入学を許可しません。

5 寮の案内（学生寮・国際学生寮）

本学には学生寮（恒和寮）及び国際学生寮（NITech Cosmo Village）があります。

(1) 恒和寮

日本人男子のみ入寮可能。116 名個室。

募集人員、入寮案内の請求方法及び提出書類等については、2025 年 2 月中旬に本学ホームページで公表します。

なお、入寮希望者が募集人員を超えた場合、経済的困窮度の高い者が優先されます。

上記に限らず、大規模災害により被災した者の宿舎については、ホームページ公表前から相談に応じますので下記までお問い合わせください。

〔問い合わせ先〕 名古屋工業大学学生生活課学生寮担当
電話：052（735）5077
Eメール：ryou@adm.nitech.ac.jp

(2) NITech Cosmo Village

日本人学生と留学生の混住型シェアハウスです。

女子学生の入寮も可能。

入寮の申込方法等については、2025年2月中旬に本学ホームページで公表します。入寮希望者が募集人員を超えた場合は選考の上、決定します。

〔問い合わせ先〕 名古屋工業大学国際交流課
電話：052（735）5350
Eメール：international@adm.nitech.ac.jp

後期日程に関する項目

1 入学者選抜方法

入学者の選抜は次のとおり実施します。本学が指定するすべての筆記試験及び面接（創造工学教育課程のみ実施）を受験しなければなりません。

[高度工学教育課程]

入学者の選抜は、令和7年度大学入学共通テスト成績、個別学力検査成績、調査書及びエントリーカードを総合して判定します。

2段階選抜は、実施しません。

(1) 配 点

- ① 大学入学共通テストについては、本学の配点に換算します。
- ② 個別学力検査については、数学400点、理科400点、外国語(英語)200点を満点とします。

学 科	区 分	国 語	地理歴史 公 民	数 学	理 科	外国語	情 報	計
全 学 科	大学入学共通 テスト	300 国語200点、地理歴史及び公民100点(1科目選択)、数学200点、 理科200点、外国語200点、情報50点の合計950点を300点に換算 する。						300
	個別学力検査			400	400	200		1000
	計							1300

注1：大学入学共通テストで、「地理歴史」及び「公民」から2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を採用します。

注2：大学入学共通テストの外国語『英語』については、リーディング100点とリスニング100点の合計200点満点とします。なお、「リスニング免除」が許可された者の英語の点数は、リーディングの点数を2倍に換算します。

注3：大学入学共通テストの「情報」について、配点は2分の1を掛けて50点満点とします。

(2) 個別学力検査

- ① 学科、期日、教科・科目、時間

学 科	期 日	教科・科目	時 間
全 学 科	3月12日(水)	数 学	9：30～11：30（120分）
		理科（物理・化学）	13：00～14：40（100分）
		英 語	15：40～17：00（80分）

② 教科，出題科目，出題科目数，科目等

生命・応用化学科，物理工学科，電気・機械工学科，情報工学科，社会工学科

教 科	出題科目	出題科目数	科 目 等
数 学	数Ⅰ 数Ⅱ 数Ⅲ 数A 数B 数C	6科目 (必須)	数Ⅰ，数Ⅱ，数Ⅲは全範囲，数Aは「図形の性質」及び「場合の数と確率」，数Bは「数列」及び「統計的な推測」，数Cは「ベクトル」及び「平面上の曲線と複素数平面」を併せて数学として出題
理 科	物理基礎・物理	1科目	試験時間中に「物理基礎・物理」又は「化学基礎・化学」のいずれか選択
	化学基礎・化学		
英 語	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 論理・表現Ⅰ 論理・表現Ⅱ 論理・表現Ⅲ	6科目 (必須)	英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲを併せて英語として出題

注：個別学力検査で出題する「数学」及び「理科」では，旧教育課程履修者に不利益が生じることのないように配慮します。

[創造工学教育課程]

創造工学教育課程では，出願コース以外のもう1つのコースについて第2志望を認めます。

入学者の選抜は，令和7年度大学入学共通テスト成績，個別学力検査（小論文含む）成績，面接の成績，調査書及びエントリーカードを総合して判定します。

(1) 2段階選抜

入学志願者が募集人員に対して，約8倍に達した場合は，大学入学共通テストの成績により第1次選抜を行うことがあります。この場合，第1段階選抜合格者に対して第2次学力検査を行います。第1次選抜の実施の有無は，本学ホームページ（<https://www.nitech.ac.jp/>）にて公表します。

なお，第1段階選抜を行った場合，合格者に対しては合格通知を，不合格者に対しては不合格通知書を2025年2月28日(金)に大学から発送することによりお知らせします。

また，受験案内については，後日メールにて送付します。

(2) 配 点

① 大学入学共通テスト及び個別学力検査

コース	区 分	国 語	地理歴史 公 民	数 学	理 科	外国語	情報	計
全コース	大学入学共通 テスト	300 国語200点，地理歴史及び公民100点（1科目選択），数学200点， 理科200点，外国語200点，情報50点の合計950点を300点に換算す る。						300
	個別学力検査			400	400	200		1000
	計							1300

注1：大学入学共通テストで、「地理歴史」及び「公民」から2科目を受験した者については，第1解答科目の得点を採用します。

注2：大学入学共通テストの外国語『英語』については，リーディング100点とリスニング100点の合計200点満点とします。なお，「リスニング免除」が許可された者の英語の点数は，リーディングの点数を2倍に換算します。

注3：大学入学共通テストの「情報」について，配点は2分の1を掛けて50点満点とします。

② 小論文及び面接

A，B，Cの3段階で評価します。

(3) 個別学力検査

① コース，期日，教科・科目等，時間

コース	期 日	教科・科目	時 間
全コース	3月12日(水)	数 学	9：30～11：30（120分）
		理科（物理・化学）	13：00～14：40（100分）
		英 語	15：40～17：00（80分）
		小 論 文	17：40～18：20（40分）
	3月13日(木)	面 接	9：30～

② 教科、出題科目、出題科目数、科目等

教 科	出題科目	出題科目数	科 目 等
数 学	数Ⅰ 数Ⅱ 数Ⅲ 数A 数B 数C	6科目 (必須)	数Ⅰ，数Ⅱ，数Ⅲは全範囲，数Aは「図形の性質」及び「場合の数と確率」，数Bは「数列」及び「統計的な推測」，数Cは「ベクトル」及び「平面上の曲線と複素数平面」を併せて数学として出題
理 科	物理基礎・物理	1科目	試験時間中に「物理基礎・物理」又は「化学基礎・化学」のいずれか選択
	化学基礎・化学		
英 語	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 論理・表現Ⅰ 論理・表現Ⅱ 論理・表現Ⅲ	6科目 (必須)	英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲを併せて英語として出題

注：個別学力検査で出題する「数学」及び「理科」では，旧教育課程履修者に不利益が生じることのないように配慮します。

③ 小論文

出 題 方 法
工学と社会の繋がり等に関わる複数のテーマから1つ選択し，400～500字程度で解答する。

④ 面接（集団面接）

評 価 内 容
工学への「関心の高さ」，「意欲」及び「チームワーク」，「リーダーシップ性」などについて評価する。

2 学力検査場

- (1) 名古屋工業大学で実施します。
- (2) 3月11日(火)13：00から16：00までの間，学力検査場の下見を認めますので，確認しておいてください（建物には，入ることはできません。）。

検査場建物については，下見の際に配付する「検査場案内」で確認してください。なお，「検査場案内」は本学ホームページ上（<https://www.nitech.ac.jp/examination/index.html>）でも掲載しますので確認してください（3月3日(月)以降掲載予定）。

3 受験上の諸注意

下記の注意事項を熟読のうえ、受験してください。

- (1) 学力検査当日は、気象状況、交通事情等を考慮して、余裕をもって学力検査場に到着してください。
- (2) 入構は正門から行ってください。
- (3) 入構の際は、必ず本学受験票を係員に提示してください。再入構する際も、受験票の提示が必要ですので、出構の際は必ず受験票を携行してください。
- (4) 学力検査当日の入構は8:10から、試験室への入室は8:30からできます。
- (5) 受験者に対する連絡事項については、掲示で行いますので、学力検査場内の掲示にはよく注意してください。
- (6) 受験票は、インターネット出願サイトよりダウンロードし、印刷して学力検査当日持参してください。
なお、学力検査当日紛失に気付いた場合は、試験実施本部に申し出てください。
- (7) 学力検査開始20分前までに、面接は30分前までに、指定された試験室の自席に着席してください。
- (8) 3月12日(水)の学力検査(数学、理科、英語)は、試験開始後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
- (9) 本学受験票及び大学入学共通テスト受験票を持参し、学力検査の際、机上の受験番号の手前に置いてください。
- (10) 机の上には、受験票のほか、黒鉛筆(H、F、HBに限る。)、シャープペンシル、プラスチック製消しゴム、鉛筆削り、時計(計時機能だけのもの、ただし、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものを除く。)以外のものを置くことはできません。
- (11) 解答用紙には、志望課程等及び受験番号を記入し、氏名を書かないでください。
- (12) 試験問題及び下書き用紙は、持ち帰ってください。
- (13) 3月12日(水)の試験進行の合図は、監督者が口頭で指示します。
なお、小論文は「創造工学教育課程」のみとなります。
- (14) 3月13日(木)の面接は、9:00までに控室に集合し、9:30から開始します。
- (15) 出題教科の「英語」で「マークシート式解答用紙」を使用します。出題形式は、マーク解答と記述解答を併用します。

マークシート式解答用紙を解答する際は、次の点に注意してください。

- ① マーク解答には、必ず黒鉛筆(H、F、HBに限る。)及びプラスチック製の消しゴムを使用してください。黒鉛筆以外のもの(シャープペンシル等)を使用してマークした場合には、解答が読み取れないことがありますので、使用しないでください。
 - ② 受験番号が正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。
 - ③ 解答は、解答用紙の「マーク例」に従って、正しくマークしてください。マークが薄い場合、一部分しかマークしていない場合、訂正箇所を消しゴムできれいに消していない(消し跡が残っている)場合は、解答が正しく読み取れず、採点できないことがあります。
- (16) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末(スマートウォッチやスマートグラス)等の電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切ってください(携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末(スマートウォッチやスマートグラス)等の電子機器については、電源やアラームの解除方法を熟知しておいてください)。
 - (17) 試験室において、不正行為*若しくは監督者の指示に従わない行為をした者には、監督者が退室を命ずることがあります。不正行為と判断された場合は、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した個別学力検査のすべての教科・科目の成績を無効とします。
なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合が

あります。

- (18) 自動車及びオートバイによる入構は認めません。また、自転車による入構についてもできる限り遠慮してください。
- (19) 昼食については、各自で用意してください。
- (20) エレベーターの使用は、禁止します。

※不正行為とは、次の行為をいいます。

- ア 志願者が受験票、解答用紙へ故意に虚偽の記入（受験票・写真票に本人以外の写真を登録することや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど。）をすること。
- イ カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
- ウ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- エ 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
- オ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- カ 解答開始の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- キ 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
- ク 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレイヤー等の電子機器類を使用すること。
※ イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとします。（試験時間中、病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請が必要です。）
- ケ 解答終了の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

上記以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、上記と同様です。

- ア 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレイヤー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
- イ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ウ 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
- エ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- オ 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
- カ その他、試験の公正性を損なうおそれのある行為をすること。

4 合格者発表及び入学手続

- (1) 2025 年 3 月 21 日(金) 13:00 に、本学ホームページ (<https://www.nitech.ac.jp/>) で合格者の受験番号を発表します。
なお、合格者発表についての電話による問い合わせには応じません。
合格者には、合格通知書及び入学手続書類を 3 月 21 日(金)に速達で発送します(郵送以外の方法では交付しません。)
合格者で、3 月 25 日(火)までに関係書類が到着しない場合は、本学入試課へ照会してください。
- (2) 合格者(又は代理人)は、合格通知書に同封の「入学手続要領」に基づき郵送により入学手続を行ってください。入学手続期間までに入学手続を行わない場合は、入学を辞退したものと取り扱います。
入学手続時に必要な経費等は、33 ページの「1 入学手続時に必要な経費等」を参照してください。
- (3) 入学手続期間
2025 年 3 月 24 日(月)～3 月 27 日(木)【3 月 27 日(木)12:00 (正午) 必着】
やむを得ない事情により郵送による入学手続ができない場合は、3 月 27 日(木) 9:00～16:00 に持参による入学手続を認めます。詳細については、合格通知書に同封の「入学手続要領」を確認してください。
- (4) 入学手続時に本学受験票及び大学入学共通テスト受験票を必要としますので、試験後も必ず保管しておいてください。
- (5) 一つの国公立大学に入学手続を行った者は、これを取り消して他の国公立大学に入学手続を行うことはできません。
- (6) 入学手続完了者であっても 2025 年 3 月に高等学校等を卒業できない者は、入学を許可しません。

5 寮の案内(学生寮・国際学生寮)

本学には学生寮(恒和寮)及び国際学生寮(NITech Cosmo Village)があります。

(1) 恒和寮

日本人男子のみ入寮可能。116 名個室。

募集人員、入寮案内の請求方法及び提出書類等については、2025 年 2 月中旬に本学ホームページで公表します。

なお、入寮希望者が募集人員を超えた場合、経済的困窮度の高い者が優先されます。

上記に限らず、大規模災害により被災した者の宿舎については、ホームページ公表前から相談に応じますので下記までお問い合わせください。

〔問い合わせ先〕 名古屋工業大学学生生活課学生寮担当

電話：052 (735) 5077

E メール：ryou@adm.nitech.ac.jp

(2) NITech Cosmo Village

日本人学生と留学生の混住型シェアハウスです。

女子学生の入寮も可能。

入寮の申込方法等については、2025 年 2 月中旬に本学ホームページで公表します。入寮希望者が募集人員を超えた場合は選考の上、決定します。

〔問い合わせ先〕 名古屋工業大学国際交流課

電話：052 (735) 5350

E メール：international@adm.nitech.ac.jp

前期日程・後期日程共通項目 II

1 入学手続き時に必要な経費等

(1) 経 費

入 学 料	282,000 円 (予定額)	
授 業 料 (入学後に納入)	年額 535,800 円 (予 定 額)	前期分 267,900 円 後期分 267,900 円

注 意 事 項

- ① 入学料及び授業料については、入学時及び在学中に改定が行われた場合には、新入学料及び新授業料が適用されます。
- ② 授業料は、希望により前期分を納入の際に後期分も併せて納入できる制度があります。
- ③ 授業料は、2025年4月1日(火)から5月30日(金)までに納入してください。
- ④ 既納の入学料は、返還しません。
- ⑤ 入学料及び授業料については、徴収猶予又は免除の制度があります。

〔問い合わせ先〕名古屋工業大学学生生活課奨学担当

電話：052（735）5076, 5078

(2) 入学手続きに要する書類等

書 類	
①	令和7年度大学入学共通テスト受験票
②	本学受験票
③	高等学校等卒業証明書（卒業見込みで出願した者）
④	その他入学手続関係書類（合格通知に同封）

2 欠員補充

入学辞退等により募集人員に欠員が生じた場合は、3月28日(金)以降追加合格又は第2次募集により補充します。追加合格を行う場合は、本人に電話で通知しますので、必ず連絡が可能な状態にしておいてください。

なお、追加合格により他の国公立大学に入学手続を完了した者は、本学に追加合格しても入学手続をすることができません。

第2次募集を行う場合は、本学ホームページで公表します。

3 入試情報

入試情報は、次の内容を開示します。情報提供の方法については、(4)を参照してください。

(1) 出願状況等

- 出願期間中の志願者数等
- 出願締切後の志願者数等
- インターネットによる合格者受験番号の掲示
- 追加合格の実施の有無

(2) 2024 年度(令和 6 年度)合格者状況

① 合格最高・最低点及び合格者平均点

学 科	区 分	合 格 最 高 点	合 格 最 低 点	合 格 者 平 均 点	満 点		
					共 通 テ ス ト	個 別 学 力 検 査	合 計
生命・応用化学科	前 期	1145.0	900.0	972.7	450	1000	1450
	後 期	1099.7	838.7	901.0	300	1000	1300
物理工学科	前 期	1148.5	892.5	975.1	450	1000	1450
	後 期	1076.0	844.0	914.2	300	1000	1300
電気・機械工学科	前 期	1152.5	936.5	1003.4	450	1000	1450
	後 期	1103.0	828.7	899.0	300	1000	1300
情報工学科	前 期	1196.5	897.5	989.8	450	1000	1450
	後 期	1108.3	912.0	985.8	300	1000	1300
社会工学科 (建築・デザイン分野)	前 期	1141.5	916.5	991.8	450	1000	1450
	後 期	1058.3	874.3	930.5	300	1000	1300
社会工学科 (環境都市分野)	前 期	1130.5	936.5	985.2	450	1000	1450
	後 期	1019.7	833.7	905.6	300	1000	1300
社会工学科 (経営システム分野)	前 期	1089.5	921.5	988.6	450	1000	1450
	後 期	988.0	713.0	799.9	300	1000	1300
創造工学教育課程 (材料・エネルギーコース)	前 期	1090.5	897.0	941.7	450	1000	1450
	後 期	939.7	797.0	868.9	300	1000	1300
創造工学教育課程 (情報・社会コース)	前 期	1058.5	884.0	954.5	450	1000	1450
	後 期	-	-	879.0	300	1000	1300

注 1：上記は、追加合格者及び第 2 次募集を除いたものです。

注 2：合格者数が 10 名以下の場合、合格者平均点のみ開示します。

② 志願者数、受験者数、合格者数等については、「ホームページ」を参照してください。

(3) 2025 年度(令和 7 年度)入試情報の開示

① 正解・解答例等

正解・解答例を開示します。ただし、正解・解答例を示すことが困難な問題については、出題意図や評価のポイント等を開示します。

② 合格者の平均点

学科等ごとの合格者の平均点を開示します。

③ 試験成績

受験者本人の申請に基づき、次の事項を開示します。

ア 開示内容

○ 令和 7 年度大学入学共通テスト科目別点数（本人が入試に利用した科目の素点及び換算点）

○ 個別学力検査科目別点数

○ 上記 2 つ（令和 7 年度大学入学共通テスト及び個別学力検査）の合計点

○ 小論文及び面接の評価 ※創造工学教育課程のみ

以上、4 項目は個別学力検査（創造工学教育課程にあつては小論文・面接を含む）の教科・科目を一つでも受験していない場合、開示されません。

イ 申請方法

試験成績の開示を希望する志願者は、インターネット出願登録の際に「試験成績開示の

希望の有無」欄で「希望する」を必ず選択してください。出願後のメール、電話等による個別の開示請求は受け付けません。

「希望する」を選択した場合、1回の出願につき開示請求手数料 800 円が別途必要です。検定料と併せて支払ってください。

ウ 開示の時期

2025 年 5 月 1 日(木)から 6 月 30 日(月)まで閲覧可能です。

注 1 : 閲覧するには、「氏名」・「受験番号」・Web 出願登録時の「整理番号」が必要です。開示時期は出願からかなり期間が空くので、受験番号及び整理番号の管理には注意してください。

注 2 : 万が一、整理番号がわからなくなった場合には、登録したメールアドレスあてに通知を受けることができます。必ず開示時期まで変更しないメールアドレスを登録してください。

注 3 : 「受験番号がわからない」、「整理番号がわからず、登録したメールアドレスも使用できない」などの問い合わせには応じません。

エ 閲覧方法

(ア) 本学 Web サイトの入試案内のページから個人成績開示システムへ進んでください。

(イ) 「氏名」・「受験番号」・Web 出願登録時の「整理番号」を入力すると閲覧できます。

④ 調査書

受験者本人の申請に基づき、次の事項を開示します。

ア 開示内容

調査書（「指導上参考となる諸事項」及び「備考」欄の記載を除いたもの）

イ 申請・開示方法

2025 年 4 月 14 日(月) ～5 月 9 日(金)までの間、本人が、本学受験票及び大学入学共通テスト受験票を持参し、入試課窓口で請求してください。

閲覧（コピーも可）することができます。

(4) 情報提供の方法

ホームページアドレス <https://www.nitech.ac.jp/>

事 項	内 容	期 間
出 願 状 況	出願期間中の学科別の志願者数及び志願倍率	1月31日(金) ～2月5日(水)
	出願締切後の学科別の志願者数及び志願倍率	2月6日(木) ～3月末
合 格 者 受 験 番 号	本学ホームページで「合格者受験番号」を発表 (この情報提供は補助的なものですので、必ず、 合格通知書で確認してください。)	(前期日程) 3月7日(金) 13:00 ～3月10日(月) 17:00 (後期日程) 3月21日(金) 13:00 ～3月25日(火) 17:00
欠 員 補 充 の 状 況	追加合格実施の有無	3月28日(金) ～3月31日(月)

入 試 情 報 の 開 示	入試情報（正解・解答例等，合格者の平均点）の開示方法及び請求方法	3月上旬 ～6月末
---------------	----------------------------------	--------------

4 入学後の修学について

高度工学教育課程に入学した学生は，創造工学教育課程への転課程はできません。

また，創造工学教育課程に入学した学生は，課程内の転コース及び高度工学教育課程・基幹工学教育課程への転課程はできません。

5 問い合わせ先

この学生募集要項に関する照会は，Eメール又は電話等で行ってください。

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所^{ごきそちよう}町 名古屋工業大学 入試課

電 話 052 (735) 5083

F A X 052 (735) 5084

Eメール nit.nyushi@adm.nitech.ac.jp

緊急時の諸連絡

災害等における選抜内容の変更等，本募集要項の内容から変更する必要がある場合は，本学ホームページ及びスマホ・携帯電話サイト等により周知しますので，出願前や受験前は特に注意願います。

○本学ホームページ

<https://www.nitech.ac.jp/>

トップページの「入試案内」→「入試速報」

○スマホ・携帯電話サイト

<https://daigakuic.jp/nitech/>

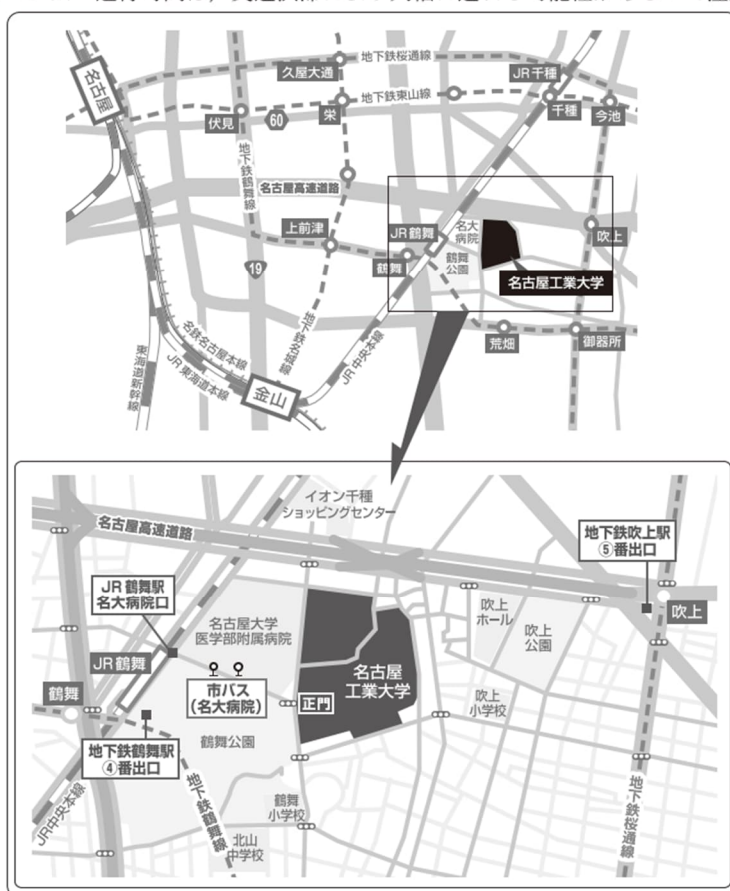


本学への交通案内

J R 東海	中央本線	鶴舞駅下車(名大病院口から東へ約400m)
地 下 鉄	鶴 舞 線	鶴舞駅下車(4 番 出 口から東へ約500m)
	桜 通 線	吹上駅下車(5 番 出 口から西へ約900m)
市 バ ス	(栄18) (栄←→妙見町)	名大病院下車(東へ約200m)

注1：(栄18) は、市バスの系統番号

2：バスの運行時間は、交通渋滞により大幅に遅れる可能性があるので注意してください。



名古屋工業大学入試課

ごきそちょう
名古屋市昭和区御器所町(〒466-8555)
電 話 052(735)5083
ホームページアドレス <https://www.nitech.ac.jp/>